

令和元年度 第2回 庁舎建替庁内検討委員会 会議録

《日 時》 令和元年10月7日(月) PM1:30～3:00

《場 所》 市役所新館4階 第2委員会室

《出席者》 総合政策部長、総務部長、財務部長、市民環境部長、危機管理部長、福祉部長、保健部長、子育て応援部長、魅力創造部長、まちづくり推進部長、建設部長、市民病院事務局長、会計管理者、上下水道局長、議会事務局長、教育総務部長、学校教育部長、生涯学習部長、選挙管理委員会事務局長

《事務局》 庁舎建設準備課長・課員2名

《外部ファシリテーター》パシフィックコンサルタンツ株式会社 2名

【議題1】庁舎整備基本計画の中間報告について

一 事務局による説明 一

1. 新庁舎整備の検討経緯について(資料1・1/4)

これまでの経過として、平成25年度に庁内検討委員会報告書における新庁舎に求められる役割、平成30年度には「岸和田市庁舎整備計画策定支援業務委託(建設地決定等)」及び「岸和田市庁舎執務環境調査業務委託」を行った旨、説明した。

また、今年度の取り組みとして、市民アンケートや市民ワークショップ並びに職員ワークショップ、庁内作業部会の実施について説明した。

2. 新庁舎に求められる機能・性能について(資料1・1/4)

今年度の取り組みによって、現段階で新庁舎に求められる機能や性能について説明した。

3. 新庁舎規模の算定について(資料1・2/4～4/4)

新庁舎の規模算定にあたっては、まず現庁舎の規模や問題点を把握したうえで、平成30年度に実施した「岸和田市庁舎執務環境調査業務委託」で算定した適正な執務スペース、会議室数、相談室数、窓口数、書庫、各課特有諸室の積み上げによる新庁舎の規模算定について具体的な積み上げ方法を説明した。

また、新庁舎建設に伴い、文書量50%削減を目指すことを示し、文書量50%削減を実現すれば、庁舎規模算定における総務省基準、国土交通省基準、他市事例と比較してもコンパクトな庁舎規模となることを説明した。

4. 庁舎配置のイメージについて(資料1・4/4)

庁舎配置のイメージについて、分棟案となった考え方、本庁舎と分庁舎の規模は決定ではないことを説明した。

検討にあたっては1棟建てのプランについても検討したが、実現性に欠ける旨、説明した。

また、概算事業費について、単価の推移や工事費の内訳について説明した。

一 委員会における意見等 一

① 立体駐車場及び本庁舎に設ける駐車場の出入り口の位置について、利用者の安全確保及び交通に支

障のないよう、大阪府各種法令等に準拠した形で計画すること。

- ② 建設工事費が拡大しているが、財政負担が少なくなるよう工事費の圧縮について努力されたい。
- ③ 庁舎規模の縮小に関して、市民センター機能の在り方については、本庁舎の縮小に向けて、当面、市民センターへの機能分担をすべきとの意見とICT化の進展がないと困難、将来人口の減少や職員数の制約から本庁に集約すべきなど意見が分かれた。
- ④ 今回の案では水道局の倉庫が解体されることになるので、建設する場所等について検討すること。
- ⑤ 文書量の削減については、すぐにでも取り組むべき。

【議題2】今後のスケジュール

－ 事務局による説明 －

今後のスケジュールについて

10月16日より市立公民館と5つの市民センターにて順次、市民説明会を開催する。

当初予定通り、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施し、令和2年3月末の基本計画策定を目指す。

－ 委員会における意見等 －

意見なし。

以上